



みよし みき

三好 美紀 准教授 博士(健康科学) 管理栄養士 大阪府八尾市出身

大学院健康科学研究科

保健・医療・福祉政策システム領域 国際地域栄養研究室

【担当科目】

公衆栄養学、地域栄養活動論、栄養アセスメント論、食事摂取基準論
公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ、総合演習ほか
(大学院)国際保健学、保健・医療・福祉学研究特論

【主な研究テーマ】

- ・地域における栄養評価と食生活支援に関する調査研究
- ・栄養転換期にある途上国支援に係る研究
(例:ラオス、ベトナム、パプアニューギニア)



【ゼミ生の卒業研究テーマ(2019年度～)】

- 在日外国人の(在日前後の)食生活、食環境および食意識、ボディイメージの変化
- 幼少期の食生活が現在の嗜好に及ぼす影響
- 過去の食習慣・生活習慣が現在の身体状況と健康意識に与える影響
- 飲食店経営者の食意識および健康意識と食環境整備状況との関連
- 大学入学前後の食事・生活習慣の変化と食知識・健康意識との関連
- 市町村における災害時用備蓄食の準備状況と提供栄養素量について



【高校生へのメッセージ】

私が栄養士を目指したのは、中学生のときにNHKで放映されたアフリカの飢餓問題のドキュメンタリーがきっかけでした。皆さんも様々な理由で管理栄養士を目指し始めたと思います。

青森県立保健大学栄養学科で共に学んで、グローバルな視野を持って地域の健康・栄養問題に貢献できる管理栄養士を目指しませんか？

あせらず、あわてず、あきらめず

【プロフィール】

＜学歴＞

- 1994年3月 大阪市立大学生活科学部食品栄養学科 卒業(学位:生活科学学士)
- 1996年3月 神戸大学大学院国際協力研究科国際開発政策専攻 修了(学位:経済学修士)
- 1999年6月 London School of Hygiene and Tropical Medicine 修了(学位:M.Phil.)
- 2011年4月 青森県立保健大学大学院健康科学研究科 博士後期課程 (学位:博士(健康科学))
- ～2015年3月 論文題目“Nutritional Status of Children and their Mothers, and its Determinants in Urban Capital and Rural Highland in Papua New Guinea”

＜職歴＞

- 1999年8月 国立国際医療センター研究所適正技術開発研究部プロジェクト評価研究室 流動研究員
- 2002年7/8月 JICA開発調査「セネガル国子どもの生活環境改善調査」短期専門家(保健・栄養)
- 2002年9月 東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健計画学教室 助手
- 2005年4月 独)国立健康・栄養研究所(現 医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所)にて 特別研究員(~H19.12)、研究員(~H23.3)、室長(~H30.3)として国際協力・連携事業を担当
- 2018年4月より現職

【所属学会】 日本国際保健医療学会、日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本健康教育学会
日本公衆衛生学会、日本疫学会、The Nutrition Society(UK)

【社会活動】 (公社)日本栄養士会国際交流委員会委員、日本栄養改善学会国際活動推進委員会委員
第22回国際栄養学会(ICN2021)組織委員会委員および広報委員会副委員長
第8回アジア栄養士会議(ACD2022)プログラム委員会副委員長